

宮崎県の門川県有林は、県北部に位置する386haのスギを主体とした森林です。このうち、平成22年度から平成23年度にかけて間伐を実施した73haを対象に、オフセット・クレジット制度を利用しクレジットを発行する予定です。今後、このモデル事業の成果を基に、県内への普及を図っていくこととしています。

プロジェクトの実施場所	宮崎県東臼杵郡門川町
吸収量(予測)	年間 490 t-CO ₂
在庫量(2012年4月時点)	— t-CO ₂
クレジットの発行予定	2012年8月
1t-CO ₂ あたりの希望単価	応相談

本県の森林は県土の76%を占めており、木材の生産、水源のかん養、CO₂の吸収・固定など多面的な機能を発揮しています。

しかしながら、木材価格の長期低迷に伴う林業採算性の低下や過疎化・高齢化の進行による林業担い手の減少などにより、手入れが行き届かない森林が増加するなど、日本一のスギの生産量を誇る本県にとって、重要な課題となっているところです。

このため、J-VER制度の活用により、森林の二酸化炭素吸収機能に経済的・社会的価値を与え、森林所有者に利益を還元するシステムを構築し、間伐の促進と併せて森林所有者の経済性向上を図ることを目的にモデル的な取り組みを実施することとしました。

取組を実施する門川県有林は、総面積386haで、そのうち平成22年度39ha、平成23年度34haのスギの定性間伐を行い、CO₂吸収量の確認を行うためモニタリング調査を実施しているところです。

今後は、このモデル事業の成果を基に、県内への普及啓発を行っていくこととしています。

宮崎県門川県有林



林内の様子

モニタリング調査

■担当者連絡先

宮崎県 環境森林部 環境森林課

みやざきの森林づくり推進室 県営林担当 梶原

0985-26-7160

miyazaki-morizukuri@pref.miyazaki.lg.jp